



2026年12月期 第3四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2026年10月23日

上場会社名 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2268 URL <https://www.br31.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 CEO (氏名) ジョン・キム

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 白井 康平

TEL 03-3449-0331

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第3四半期の連結業績 (2026年1月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第3四半期	30,037	16.2	3,116	2.1	3,207	3.6	2,071	4.2
2025年12月期第3四半期	25,853	11.7	3,052	13.4	3,096	15.7	1,988	16.6

(注) 包括利益 2026年12月期第3四半期 1,962百万円 (0.2%) 2025年12月期第3四半期 1,959百万円 (15.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第3四半期	214.95	—
2025年12月期第3四半期	206.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第3四半期	32,573	16,125	49.5
2025年12月期	31,803	14,981	47.1

(参考) 自己資本 2026年12月期第3四半期 16,125百万円 2025年12月期 14,981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	25.00	—	55.00	80.00
2026年12月期	—	30.00	—	—	—
2026年12月期 (予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年12月期期末配当金の内訳 普通配当35円00銭、特別配当20円00銭

3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年 1月 1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	35,830	4.5	2,830	2.2	2,880	0.6	1,800	186.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) , 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期3Q	9,644,554 株	2025年12月期	9,644,554 株
② 期末自己株式数	2026年12月期3Q	8,717 株	2025年12月期	8,717 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期3Q	9,635,837 株	2025年12月期3Q	9,635,837 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。当社は当第3四半期決算短信提出後速やかに当社ホームページに四半期決算説明補足資料を公開する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2026年1月～9月）における日本国内の経済状況は、雇用・所得環境の改善が進んだものの物価上昇の勢いがそれを上回り、家計の消費支出は前年同月比で実質マイナスの月が連続しております。更に、中東情勢は深刻化しており、原油の輸入価格が高止まりしていることに加えてその量の確保も危ぶまれる事態にまで至っており、物価上昇と円安基調に終わりが見えず、企業経営に対する逆風がますます強まっております。

このような環境のもと、当社グループは「“We make people happy.”～アイスクリームを通じて、人々に幸せをお届けします。～」を企業理念に、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“FUN（楽しいこと、嬉しいこと、感動すること）”に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンを目指すとともに、企業の継続的成長に努めています。

また、当連結会計年度は、当社グループの長期経営計画（ブランドパワー強化・デジタル化・スマート31・販売拠点拡大）の6期目にあたります。その中で当第3四半期連結累計期間では、一昨年、昨年と更新した過去最高売上をさらに上回る成長を記録し増収増益となりました。原材料費の高騰と円安を背景に、厳しい経営環境にありますが、通期業績予想につきましては順調に推移しています。

- ・当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の売上高が300億37百万円と過去最高を更新。
- ・当第3四半期連結累計期間の国内総小売売上高が577億98百万円と過去最高を更新。
- ・既存店売上高が22四半期連続でプラスを維持
- ・1店舗あたりの売上高が53,331千円と過去最高を更新
- ・記録的な売上原価の上昇傾向が続き、売上総利益率は3.05%（9億14百万円）減。
- ・3期連続増収増益。
- ・通期業績予想に対して予定通り進捗。

この背景には、長期経営計画での各戦略を推進し着実に実行していること、既存ケーキ販売及び新たに発売した新商品のケーキ「31パティスリー」の売れ行きが好調に推移していることが挙げられます。

一方で、コスト増に対して、お客様の店舗体験と成長戦略をもとに、ブランドロゴの刷新や積極的なプロモーションキャンペーンの実施など、下期以降の成長に向けた資本投下を実施してまいりました。

引き続き、お客様や従業員の安全を第一に考えた衛生管理を徹底し、当社グループの長期経営計画（ブランドパワー強化・デジタル化・スマート31・販売拠点拡大）を推進、これまでに成功した施策は継続・強化し、さらに新たな施策を実行してまいります。

<ブランドパワー強化>

2026年4月1日よりブランドロゴをリニューアルし、店舗デザインにおいても「STUDIOデザイン」および「LOUNGEデザイン」の2タイプの新デザインを順次導入しております。また、お客様のデマンドに合わせたマーケティング、サーティワンらしいプロモーションを展開しました。人気ゲーム「どうぶつの森」との初コラボレーション、またお客様から高い評価を受けている「ポケモン」、不二家のロングセラーキャンディ「ミルキー」とのコラボレーションは幅広い層にご好評いただきました。さらに、モバイルオーダー限定で、オープンワールドRPG「原神」とのコラボレーションを実現。アイスクリームケーキからは「“ミニオン”パレット4」を発売し、新カテゴリー「31パティスリー」と共に引き続き多くのお客様に楽しんでいただきました。

<デジタル化>

コミュニケーションツールの会員制アプリ「31Club」の会員数が、1,240万人を超えました。会員の購入額は売上全体の46.9%を占めています。また、予約受付も可能なモバイルオーダーを推進することで、お客様の利便性及び店舗生産性向上に努めています。デジタルサイネージ導入をはじめとする、デジタル技術を活用した店舗オ

ペレージョンの簡素化にも一層の取り組みを進めます。

<スマート31>

スマート31施策として、サプライチェーン・マネジメントの最適化で昨今のコスト上昇を抑制しています。当社の組織に関しては、引き続きリモートによる就業、従業員福利厚生の拡充など働き方改革による最適化を推進しています。また、オフィスや生産工場、そして店舗でも、エネルギーの効率的な使用に努めております。また、2工場における食品残渣の削減、電気使用量の削減も図っております。

<販売拠点拡大>

店舗戦略として、新規商業施設への出店強化を継続するとともに、お客様のデマンドに沿って、ロードサイド、ビジネス街、駅前、繁華街など、様々な立地での展開を実施しています。その結果、当第3四半期連結累計期間末国内店舗数は1,107店舗(準店舗を除く店舗数は、1,095店舗)と前年同期末に比べ32店舗の純増となっています。大学や会社の食堂、行楽地、サービスエリアや空港・駅への出店など、お客様の購入機会を増やすよう積極的に取り組んだ結果、当第3四半期連結累計期間末の国内サーティワンカップ販売等拠点(通常店舗と異なる販売拠点)数は477ヶ所、さらに台湾・ハワイで当社が運営する海外店舗数は56店舗となります。これにより、国内外合わせて当第3四半期連結累計期間末の当社総販売拠点数は1,640ヶ所と前年同期末と比べ100ヶ所の増加となっています。

当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の売上高は、小売売上高の伸長に牽引され、過去最高の300億37百万円(前年同期比116.2%)となりました。小売売上高も長期経営計画の4本の柱を中心に、お客様から高い人気を誇るキャラクターとのコラボレーションの実現やデマンド戦略に沿ったプロモーションの実施により、過去最高を記録しました。

売上原価は155億31百万円(前年同期比123.5%)となりました。原料費の高騰並びに円安の影響に伴う売上原価の増加がありましたが、サプライヤーと協働して品質を保ちつつ原料調達コストを抑制したことと、工場での製造管理の最適化や生産スピード向上による製造原価低減を進めたことにより、売上総利益は145億6百万円(前年同期比109.3%)となりました。

小売売上高及び当社の卸売上高を伸ばすために、新作フレーバーの告知強化、積極的なデジタル広告の出稿、モバイルオーダーの活用促進、販売拠点の拡大などの施策に活動費を積極的に投じました。その結果、売上高は増加し、出荷増に伴う物流費の増加等もあり、販売費及び一般管理費については前年同期間と比べて11億68百万円増加の113億89百万円となりました。

以上の結果、営業利益は31億16百万円(前年同期比102.1%)となりました。これは、外的要因とビジネス成長に伴うコスト上昇を加味した通期連結業績予想に対して順調に推移しております。

また、経常利益は32億7百万円(前年同期比103.6%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億71百万円(前年同期比104.2%)となりましたが、こちらも通期連結業績予想に対して順調に推移しております。

なお、当社グループはアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ7億69百万円増加の325億73百万円となりました。これは主に、現金及び預金が16億21百万円増加しましたが、売掛金が9億円減少したことによるものであります。

総負債は前連結会計年度末に比べ3億74百万円減少の164億47百万円となりました。これは主に、未払金が17億79百万円減少しましたが、預り金9億38百万円及び契約負債5億68百万円が増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ11億43百万円増加の161億25百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が20億71百万円あったこと及び配当金の支払いが8億19百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月9日に公表いたしました「2025年12月期決算短信(連結)」の業績予想より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,192,901	8,814,559
売掛金	2,816,204	1,915,972
製品	1,772,942	2,170,859
原材料	1,011,223	945,987
貯蔵品	577,064	717,492
前払費用	512,326	645,499
未収入金	2,604,404	2,208,237
未収消費税等	317,899	—
その他	227,886	239,608
流動資産合計	17,032,852	17,658,215
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,576,776	5,637,659
減価償却累計額	△2,725,248	△2,868,145
建物（純額）	2,851,528	2,769,514
構築物	444,950	444,950
減価償却累計額	△340,303	△352,580
構築物（純額）	104,646	92,370
機械及び装置	5,982,154	6,872,994
減価償却累計額	△3,623,312	△3,867,423
機械及び装置（純額）	2,358,842	3,005,570
賃貸店舗用設備	4,173,173	4,392,651
減価償却累計額	△2,123,981	△2,316,741
賃貸店舗用設備（純額）	2,049,192	2,075,909
直営店舗用設備	2,182,976	2,398,339
減価償却累計額	△414,007	△645,820
直営店舗用設備（純額）	1,768,969	1,752,518
車両運搬具	108,039	135,729
減価償却累計額	△56,905	△54,818
車両運搬具（純額）	51,133	80,910
工具、器具及び備品	757,455	800,799
減価償却累計額	△666,571	△689,221
工具、器具及び備品（純額）	90,884	111,578
土地	695,362	695,699
建設仮勘定	869,102	393,325
有形固定資産合計	10,839,662	10,977,397
無形固定資産		
のれん	187,328	174,230
その他	492,186	445,599
無形固定資産合計	679,514	619,829

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
投資その他の資産		
破産更生債権等	463	373
長期前払費用	244,859	220,369
繰延税金資産	275,513	294,809
敷金及び保証金	2,496,252	2,613,046
その他	235,003	189,176
貸倒引当金	△231	△186
投資その他の資産合計	3,251,860	3,317,589
固定資産合計	14,771,037	14,914,815
資産合計	31,803,890	32,573,030

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,292,305	1,205,785
1年内返済予定の長期借入金	310,762	300,008
未払金	6,806,060	5,026,409
未払法人税等	789,161	622,068
未払消費税等	—	283,260
契約負債	2,585,070	3,153,264
預り金	401,573	1,340,101
賞与引当金	332,152	319,846
役員賞与引当金	178,800	89,400
その他	59,506	114,120
流動負債合計	12,755,393	12,454,265
固定負債		
長期借入金	1,723,291	1,498,285
退職給付に係る負債	88,585	89,385
役員退職慰労引当金	82,400	55,415
資産除去債務	223,108	232,517
長期預り保証金	1,932,111	2,100,454
繰延税金負債	17,575	17,663
固定負債合計	4,067,071	3,993,720
負債合計	16,822,464	16,447,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金	241,079	241,079
利益剰余金	13,654,194	14,906,333
自己株式	△17,519	△17,519
株主資本合計	14,613,040	15,865,179
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,893	22,709
繰延ヘッジ損益	8,286	△827
為替換算調整勘定	304,204	237,983
その他の包括利益累計額合計	368,385	259,865
純資産合計	14,981,425	16,125,044
負債純資産合計	31,803,890	32,573,030

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
売上高	25,853,609	30,037,785
売上原価	12,580,550	15,531,577
売上総利益	13,273,058	14,506,207
販売費及び一般管理費	10,220,832	11,389,342
営業利益	3,052,226	3,116,865
営業外収益		
受取利息	539	54
為替差益	—	22,689
受取ロイヤリティー	59,956	79,185
受取報奨金	27,073	8,654
その他	18,488	7,710
営業外収益合計	106,058	118,294
営業外費用		
支払利息	16,103	14,200
為替差損	23,170	—
店舗設備除去損	19,741	12,725
その他	2,833	1,047
営業外費用合計	61,848	27,973
経常利益	3,096,435	3,207,186
特別利益		
固定資産売却益	12,864	5,420
特別利益合計	12,864	5,420
特別損失		
固定資産廃棄損	35,707	25,842
特別損失合計	35,707	25,842
税金等調整前四半期純利益	3,073,593	3,186,763
法人税等	1,085,322	1,115,579
四半期純利益	1,988,270	2,071,184
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,988,270	2,071,184
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,214	△33,184
繰延ヘッジ損益	△9,077	△9,113
為替換算調整勘定	△47,133	△66,221
その他の包括利益合計	△28,996	△108,519
四半期包括利益	1,959,273	1,962,665
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,959,273	1,962,665
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、アイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間における減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及び、のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
減価償却費	893,354千円	1,161,769千円
のれんの償却額	14,404	14,043